

連結ベース

■ 損益状況 (単位：百万円)

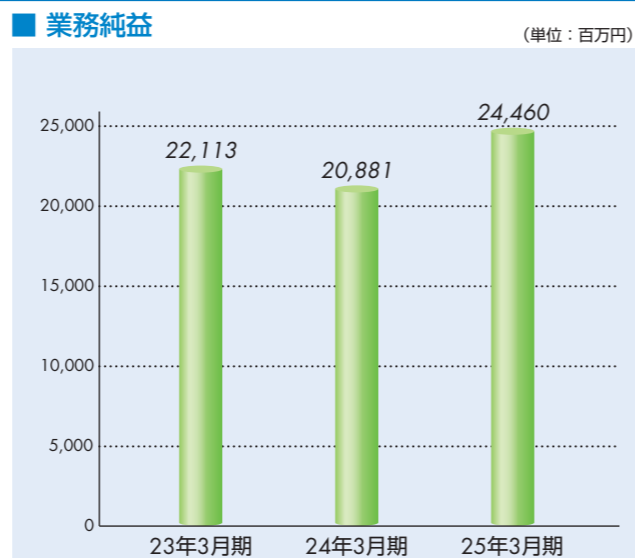
科目	平成23年度	平成24年度
経常収益	116,007	111,597
経常費用(△)	105,214	98,848
経常利益	10,792	12,749
与信関連費用(△)	12,189	12,261
当期純利益	3,770	10,095



単体ベース

■ 損益状況 (単位：百万円)

科目	平成23年度	平成24年度
業務粗利益	74,051	69,022
資金利益	60,143	55,109
役員取引等利益	2,911	4,662
その他業務利益	10,995	9,251
経費(△)	50,759	47,642
うち人件費(△)	24,760	23,821
うち物件費(△)	23,252	21,670
コア業務純益	14,031	13,163
業務純益	20,881	24,460
経常利益	7,716	9,492
与信関連費用(△)	9,379	9,255
当期純利益	2,050	8,075



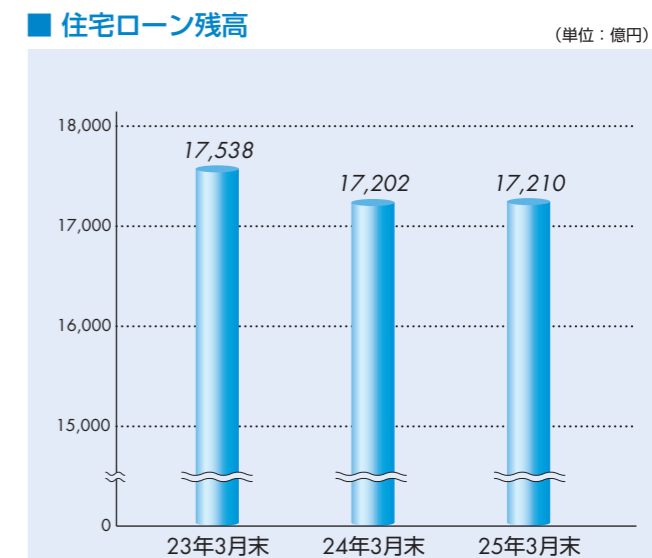
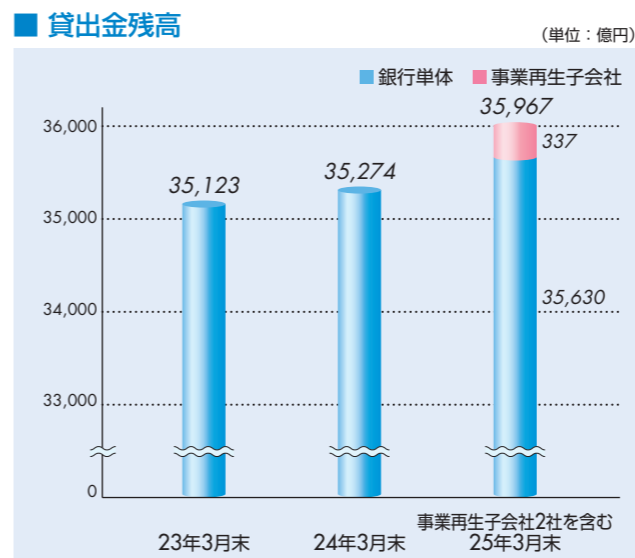
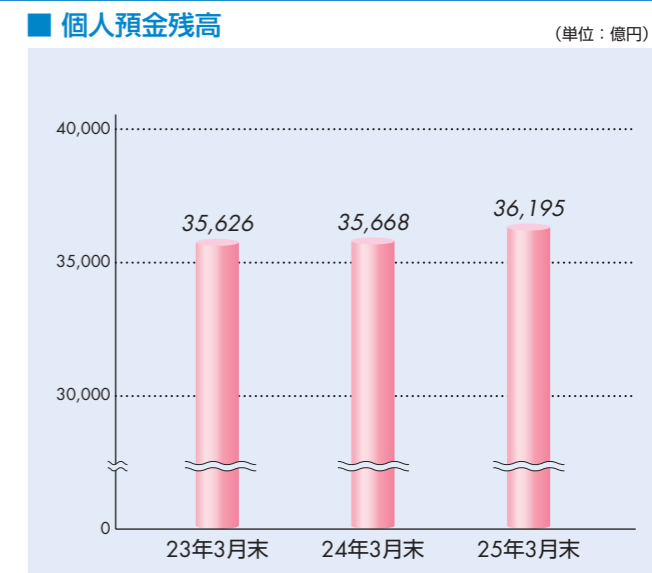
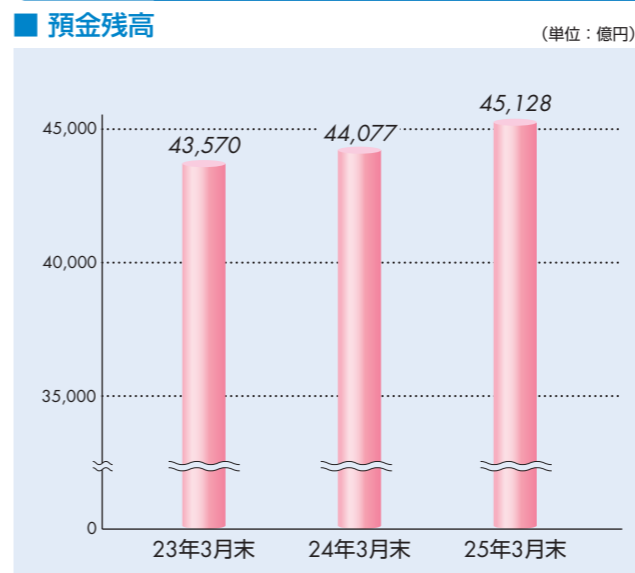
■ コア業務純益 (単位：百万円)



■ 当期純利益 (単位：百万円)



単体ベース



業績の概要

(損益の状況)

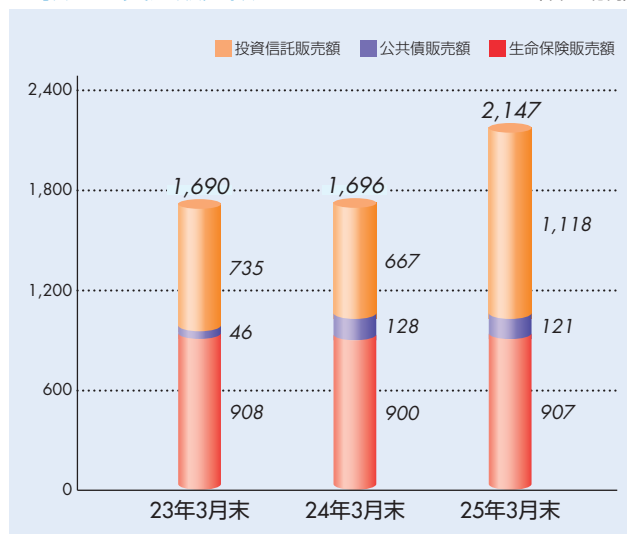
当行グループ連結業績につきましては、当連結会計年度の経常収益は、資金運用収益643億87百万円、役員取引等収益179億14百万円、その他業務収益165億43百万円及びその他経常収益127億52百万円を計上し、1,115億97百万円となりました。また、経常費用は、資金調達費用93億82百万円、役員取引等費用60億95百万円、その他業務費用72億90百万円、営業経費538億14百万円及びその他経常費用222億64百万円を計上し、988億48百万円となりました。

以上の結果、経常利益は127億49百万円となり、特別損益計上後の税金等調整前当期純利益は131億73百万円となりました。また、法人税等合計27億69百万円並びに少数株主利益3億8百万円を計上後の当期純利益は100億95百万円となりました。

当行単体業績につきましては、業務粗利益は、690億22百万円となりました。また、業務粗利益から人件費・物件費等の経費並びに一般貸倒引当金繰入額を控除した業務純益は244億60百万円となりました。

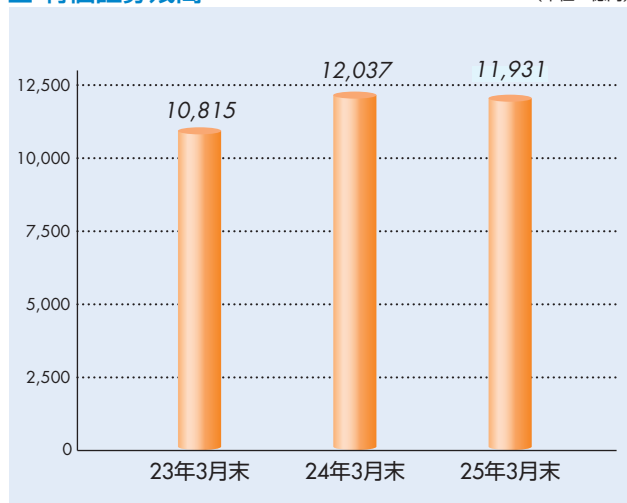
■ 預かり資産販売額

(単位：億円)



■ 有価証券残高

(単位：億円)



業務純益に不良債権処理額並びに株式関係損益などの臨時損益を加減した経常利益は94億92百万円となり、特別損益及び法人税等を計上後の当期純利益は80億75百万円となりました。

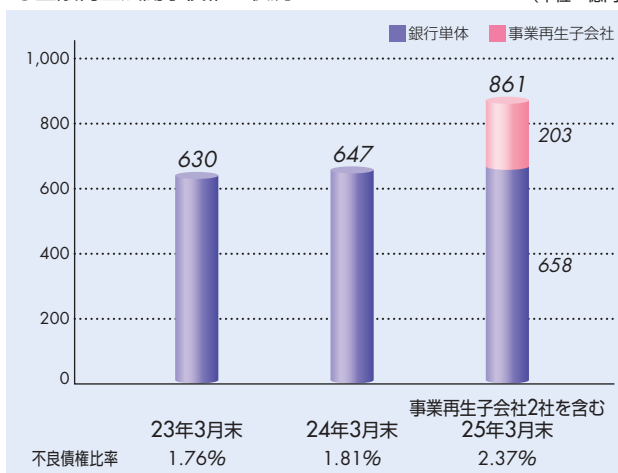
(資産・負債の状況)

預金の当連結会計年度末残高は、4兆4,959億円となりました。

■ 資産の健全化について

● 金融再生法開示債権の状況

(単位：億円)



● 金融再生法開示債権の保全状況 (平成25年3月末)

銀行単体ベース

(単位：億円)

	債権額	保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	112	112	100.00%
危険債権	427	395	92.54%
要管理債権	118	61	51.92%
合計	658	569	86.52%
正常債権	35,327		

保全額：担保等による保全額+貸倒引当金

(ご参考)

事業再生子会社合算ベース

(単位：億円)

	債権額	保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	117	117	100.00%
危険債権	600	543	90.56%
要管理債権	143	73	50.99%
合計	861	734	85.25%
正常債権	35,462		

保全額：担保等による保全額+貸倒引当金

貸出金の当連結会計年度末残高は、3兆5,882億円となりました。

有価証券の当連結会計年度末残高は、1兆1,692億円となりました。

なお、単体ベースの預金残高は、前事業年度末比1,051億円増加の4兆5,128億円に、貸出金残高は、前事業年度末比356億円増加の3兆5,630億円に、有価証券残高は、前事業年度末比106億円減少の1兆1,931億円となりました。